

趣旨

安全な医療を提供するため、医療機関においては、多剤耐性菌、結核、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症のアウトブレイク発生時における迅速な対応が求められている。しかし、アウトブレイク発生時においては、一医療機関で対処することが困難な場合もあるため、緊急時に各医療機関のアウトブレイクへの支援等を行うために、三重県内の医療機関相互のネットワークの構築を行う。また、平時からのネットワークを活用し、県内医療機関の感染対策の向上を図る。

【参考：平成26年医政地発1219第1号 厚生労働省医政局地域医療計画課長通知】

概要

1. アウトブレイク支援

各医療機関においては、アウトブレイクが発生し、対応困難な事態が発生した際、MieICNet参加の医療機関の中から専門家(医師・看護師・薬剤師・検査技師等)を派遣し、改善支援を行う。

- ・疫学的調査、改善策の立案、院内職員や外部への対応等の支援

2. 日常的な感染対策への相談支援

各医療機関から感染対策上の質問等を受け付け、MieICNet参加の医療機関の中から専門家(医師・看護師・薬剤師・検査技師等)がアドバイスを行う。

- ・メール/FAX等で質問を受け付け、各分野の専門家が回答
- ・共有すべき情報があれば、web上でQ & A集を公開

3. 微生物学の情報収集・検査の支援

- ・各医療機関で実施できない特殊検査等を受付、検査可能な医療機関において実施
- ・三重県院内感染対策サーベイランス(Mie Nosocomial Infection Surveillance: MINIS)

三重県内の入院医療機関を対象に微生物情報を収集し、細菌の検出状況や薬剤耐性の状況を地域別、病院機能別で集計し三重県の感染症の発生動向を把握するとともに地域のアンチバイオグラムを作成する。

4. 抗菌薬適正使用の推進

- ・三重県内の医療機関における抗菌薬の使用状況の把握を行う。

5. 情報共有

感染症、感染対策に関連する情報をメール等で定期的に配信することや、web上で関連情報を公開する。また、定期的に講演会を開催し、情報共有を行う。

